

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年 5月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673900108
法人名	医療法人 トウスイ会
事業所名	グループホーム みのり園
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1358-2 (電話) 0996-52-0122
自己評価作成日	平成28年3月

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町の中心部に母体病院と隣接してホームが設置されておりご利用様は診療や健康管理を安心して任せる事が出来ます。職員は基本理念を毎朝復唱し、ご利用様の尊厳を守るケアを目標に取り組んでいます。ご利用様が生活を営んでいくために必要な作業、例えば掃除や洗濯物の管理などを共同で行い、持てる力を生かすことでご利用様の自信や生き甲斐に繋がっています。また、園庭ではご利用様と一緒に季節の野菜作りを行い、収穫の楽しみを味わって頂いています。また、気候の良い時期は日光浴を兼ねた散歩を実施し外の空気を味わっていただいたり、リハビリやレクリエーションを毎日実施するなど、ご利用様が喜んでくださる工夫を色々行っています。外門や玄関は常に開放されており、いつでもご家族や友人・知人が立ち寄り易い環境作りをしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○国道沿いにあり、向かいには大型ホームセンターがあり、町の中心部に位置している。母体病院とリハビリセンターと隣接し、平屋造りのグループホーム2ユニットが中庭を囲むように建てられている。中庭では季節の花や野菜が植えられ、利用者・職員で世話をしている。収穫された野菜は食材として利用している。日々の食事を大切にしており、旬の野菜、肉・魚は専門店から取り寄せるなど、食材に気を配って美味しい食事を提供するように心がけている。

○2つのユニットは建物内で繋がっており、自由に行き来することが出来る。リビングは広く、食卓テーブルのほかに体操やレクリエーションが行えるスペースがあり、車椅子での移動もしやすい。

○医療機関と連携を取り、職員が理学療法士等から指導を受け、利用者にはリハビリ的なレクリエーションを行ったり、日常生活動作の工夫で筋力の維持・向上に努めている。各種マニュアル、感染情報、外部評価報告書を玄関付近に掲示し、訪問者に情報提供を行っている。

○利用者には担当職員をつけ信頼関係を深め、ケアプランの見直し時には全職員でカンファレンスを行い、情報を持ち寄り、個々の利用者の満足に繋がるケアに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼時に理念の唱和を行い職員全員で共有し実践に努めている。	事業所の理念をリビングに掲げ、年度初めに理念に添った目標をそれぞれのユニットごとに立て、理念とともに日常のケアの中で活かし、年度終わりに評価をしている。朝礼や職員会議で唱和し、理念の意義の理解を深め、意識して業務に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の育成会・公民会の方々と交流を取っている。 園だよりを年3回発行し読んで頂いている。	ボランティア、町内の保育園、地域の子供会の方々の訪問が恒例になり、年間行事の中に組み込まれている。高校生の実習受け入れも行っている。日常的に散歩や買い物に出かけ、近隣の人々と挨拶などを交わし、交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	園に来園された方には、認知症の方の理解と支援方法を提供している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催している。 ご家族、役場、民生委員等の方々の色々な意見を参考にし、それを職員会議で報告し話し合いをしている。	会議は利用者や家族・地域住民・役場職員等が参加して定期的開催されている。出された意見等を検討し、ケアの向上に繋げている。より多くの家族参加者を得るために、次年度は休日の開催も検討する予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村担当者と管理者や協力関係を築く様、色々と相談されていると思う。	運営推進会議に出席して頂き、市町村担当者からホームの入居状況など問い合わせ等があったり、更新時の手続き等の相談したり、日頃から連絡を取り合っている。町主催のケアマネ協議会の研修、介護職員を対象にした事例検討会等に積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設けて、時々勉強会をしている。 職員全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会があり、年間の計画に数回の勉強会が組み込まれ、言葉による拘束を含む身体拘束をしないケアを心がけている。職員同士で日頃の接遇等、お互いに注意喚起しあって取り組んでいる。不穏状況が伺える利用者は散歩等で対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会を設け、議題について皆で意見を出し話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は制度があることは理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者・家族の疑問点や不安材料を納得されるよう十分な説明を行い理解、納得されるまで説明に心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関には意見箱を設置している。家族からの電話連絡時や面会時は職員が意見や要望を伺いそれらを運営に反映させている。	利用者の意見・要望は日常の会話の中から聞き取ったり、うまく表現が出来ない方は、日々の行動や表情などから察知し、利用者記録に記載し共有して入る。家族からは面会時、利用料支払い時等に利用者の状況・状態などを伝えるとともに、意見・要望を伺っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や朝礼等での意見を集約し、代表者は主任会議にて反映出来るよう努めている。	管理者、ケアマネージャーは朝礼や職員会議の際、意見や提案を聞き取っている。また、常に話しやすい雰囲気づくりに心がけ、日常のケアの中からも意見を聞くように努めている。出された意見や提案はよく検討し、業務改善・ケアの向上に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	運営上できる限りの条件の整備、各自が向上心を持って働ける職場環境に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修、消防に関する研修、紙オムツ専門業者による排泄ケアの勉強会を実施、未経験者の雇用を促進し働きながらトレーニングして資格が取得出来るよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者間での情報交換はされているがネットワーク作り等に行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初回面談時や入所後ご本人が困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申請時などで信頼関係が持てるよう話し合いを設けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人と家族の実情に応じ必要としている支援を見極め他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的な雰囲気大切に暮らしを共する者同士の関係を築いて生活していけるよう心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族へ近況報告をかねた写真入りの手紙を送ったり行事への参加の連絡を取ったりして協力し合える関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・友人・知人の方の面会や外出、一時帰宅の支援を行い、大切な関係が途切れないようにしている。	本人の趣味、経歴、馴染みの方などの情報は、入所前のアセスメントにより聞き取り、個人台帳に記録して職員間で共有している。家族の協力を得ながら本人の希望があれば自宅への一時帰宅・美容室利用・墓参りなどを可能な限り支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が上手くいくような雰囲気作りやテーブルの席の配置の工夫を行い職員が橋渡しをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であってもお見舞いに行ったり行事があるときは見に来ていただけるよう声をかけ、関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人のこれまでの人生を把握出来るよう努めている。困難な場合はご本人やご家族の要望・意向に出来るだけ添えるように心がけている。	入所申し込み時の際、本人や家族の思いや希望等を聞き取り、入所後も日々の言葉や表情などから、利用者の意向をくみ取るように努めている。ケア会議で、個々の思いを職員で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時これまでの生活暦や状況をご本人やご家族、友人・知人等から聞き取り把握に努めている。また、情報をもとに把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の記録、申し送り等で把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者個々に担当者をつけてご家族や民生委員との連携を図りながら、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	担当制を設け、利用者の現状を細かく把握し、月1回全職員でケア会議を行っている。本人や家族の思いや要望を十分くみ取り、主治医の意見、職員の意見など医療、生活面からみた計画書を作成している。また状況に変化が生じた場合は、随時計画を見直し、現状に即した計画となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用し申し送り等で情報を共有しながらケア会議で話し合っって介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズを尊重できるような支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・ボランティア・公民会・警察・消防など当園への協力をいただきながら安全で豊かな暮らしが出来る支援をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当園の運営主体が病院のため入所の時に本人・家族の納得を得て安心して医療が受けられる体制である。	かかりつけ医は、利用者・家族と話し合いの上決めており、現在全員の方が法人の医療機関になっている。母体病院が隣接しており、往診もあることから利用者・家族に喜ばれている。専門医の受診は家族対応を基本とし、職員が同行した際は、受診結果を支援経過記録に記載すると共に、家族に随時報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の健康状態を常に把握し、情報や気づきを共有しあう事でより良い支援を受けられる様に努力している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者のこれまでの症状や変化を詳しく記録し情報交換や相談する事で安心して早期退院できる様努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化や終末期にご本人・家族の意向を尊重できるように話し合いを行っている。事業所で出来る事など伝えた上納得を頂いている。	重度化した場合や終末期についての方針は、重要事項の中に記載があり、利用開始時に説明して理解を得ている。実際に重度化した時には家族に再度詳しく説明し意向を確認して、家族・医療機関と連携して事業所で行える支援を検討し、実践している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当てや初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な避難訓練の中で消防職員の立会いの下、応急手当てや初期対応の訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の中で災害対策を議題に十分話し合っている。定期的な避難訓練の中で地域の方の協力をいただきながら訓練も行っている。	年2回の災害避難訓練は、夜間想定 の訓練も行なわれ、地域住民の自衛 消防団の組織も整っている。DVDな どを利用した学習も行い、認識を深 めている。母体病院との連携もしつ かり取られ、人的協力や水・食料備 蓄の協力がある。さつま町は、他の 福祉関係の事業所の避難訓練を相互 見学するシステムあり、共に学び合 う機会となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊厳を園の理念に掲げケア会議では個々に合った声かけや関わり方を話し合いご本人の人格を損ねないように心掛けて対応している。	人格の尊重やプライバシー等に関しては、研修の中で何度も触れ、職員は理解し、気を配って日頃のケアを行っている。ボランティア、実習生の方々にも事前に個人情報やプライバシーに関して配慮する旨を伝えていく。トイレは車椅子でも利用しやすく、なおプライバシーもしっかり保たれるような作りになっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人の思いや希望を表せるよう声かけをして自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の訴えを尊重しその日をどのように過ごされたいのか実現できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように好みに合わせて支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前のテーブル拭きやお茶入れ等、準備や片付けを出来る力を活かしながら実施している。食事を楽しまれるよう食前体操や雰囲気作りを心掛けている。	新鮮で安全な食材を使用するよう心がけ、肉・魚はれぞれ専門店から野菜は無農薬を取り寄せている。自家菜園の野菜も食卓を飾り、職員の家族からの差し入れもある。食事形態にも配慮し、出来るだけ美味しく食べていただく努力をしている。献立は母体病院の栄養士のメニューを参考にし、栄養バランスに気をつけて作成している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態の把握をしっかりとし、無理なく満足して食事や水分摂取をして頂くように配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯洗浄の声かけし出来ない方は介助している。夜間は洗浄剤を使用し清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の実態、状況を十分把握し声かけしたり、パットも検討し自立に向けた支援を行っている。	排泄用品の効果的な使用方法について業者からの指導を受け学習し、適切に対応できるように心がけている。数種類のパットを準備し、時間帯や状態によって使い分けている。また、ADLアップ・補水の工夫などで、一人ひとりの排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の一日の水分摂取量など十分把握し声かけしたり、便秘予防の為、毎日牛乳、ヨーグルトを摂取して頂いている。また、運動も取り入れてスムーズな排便に向けて取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	事前に声かけしたり、入浴中語りながら楽しく入浴して下さるよう、また、気持ち良かったと思っ頂けるよう配慮している。	温泉を利用しての入浴で、週に2～3回を予定している。入浴用品などは利用者の使い慣れた物・好みの物を使用している。拒否的傾向がみられる方には、無理強いせず声かけのタイミングを工夫して、気持ちよく入っていただくように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況を十分把握し、昼少し身体を休めて頂いたり、夜の入眠時間に声かけし安心して休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院・薬局の指示のもと服薬の支援をしている。症状の変化がみられる時などはすぐ連絡をとり指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かした役割分担や趣味を継続できる支援をしている。カレンダーめくり、塗り絵、洗濯物の干しやたたみ、散歩など。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の体調に合わせた散歩をしている。散歩が出来ない方は園庭に出て花壇等を眺めておられる。行事などの中に無理のない場所へ外出し楽しんでいる。外出出来る方は家族と外出が出来るよう相談をしている。	必要に応じて家族と自由に外出が出来るように支援している。日頃は、近くのホームセンターに職員と一緒に日用品の買い物などに出かけたり、庭での外気浴をしている。季節の花見等は実習生のいる時期に年間行事に組まれ、とても楽しみにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の財布は所持していないが一人ひとりの希望に応じ使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話がかかってきた時はご本人自らが会話出来るように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日ご利用者全員で掃除等、清潔な環境作りに心掛けている。	リビングは、窓が大きくとられ明るく、テーブル設置部分と体操やレクリエーションなどが出来るスペースがあり、広々としている。みんなで洗濯物をたたんだり、コーナーには畳ベッドやソファが置かれ、自由に思い思いに過ごしている。季節感のあるタペストリーを製作し壁に飾っており、和やかな雰囲気を出している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル配置の工夫、リビング・ダイニングの利用が自由に出来るように配慮している。また、玄関脇やベランダ等に椅子を設置し独りになれる場所を作っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今まで家で使い慣れた私物やご家族の写真等を居室に置き気持ちよく生活出来るように支援している。</p>	<p>居室は畳スペースもあり広く、窓からの採光も十分で明るく、菜園や中庭が見渡せる。入り口はほとんどがリビング側に面していて、部屋にいても全体が見渡せ安心感がある。それぞれの身体状況に合わせたベッドや冬の季節には加湿器を個人で持ち込んで頂き、家族の協力を得ながら過ごしやすい部屋づくりを支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室やトイレ等、分かり易く表示し安全に利用出来る様、また、混乱しない様に配慮している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼時に理念の唱和を行い、職員全員で共有し実践に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の育成会、公民会の方々と季節の行事等を通して交流している。あと、ボランティアや保育園の方々との慰問があり、交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	園に来園された方々には、認知症の理解や支援方法を口頭で提供している。また、玄関入り口に認知症の理解を深める為のパンフレットを見やすいように置いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催している。ご家族・役場・民生委員等の方々の色々な意見を参考にしている。その意見は職員会議で話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者と協力関係を築ける様、日頃から色々相談を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設けて、定期的に勉強会をしている。また、会議を通して職員全員が身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等で虐待についての話し合いを行い、意見を出し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度の活用をされている方が入所されている時期もあり、理解はしている。活用できる支援はまだした事がない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご利用者、ご家族の疑問や不安等があれば些細な事でも気軽に尋ねて下さるよう常に声かけしている。また、理解・納得頂けるまで説明をおこなっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設けている。ご家族の面会時や家族会などで意見・要望を聞く機会を作っている。また運営推進会議時に外部者を交え検討し運営に反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝礼・会議等で意見が出た事は全員で検討し反映できるものはさせている。難しい内容は経営側へ上申している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>出来る限り希望の休み日程を勤務に組んでいる。勤務年数が重なる毎に基本給アップや、有給日数アップがなされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修や勉強会へは積極的に参加し、職員会議等で報告し参加出来なかった職員への勉強会や資料の回覧も実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者での情報交換がある。職員は定期的に町の事例検討会に参加し同業者との交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時や、入所後もご本人とゆっくり話を聞く場を設けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申請時や入所後の面会時にゆっくり話を聞く場を設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の実情に応じ、必要な支援を見極めサービスの紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な雰囲気大切に職員を含めて共同生活を営んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族へ近況報告をかねた写真入りの手紙を送り、協力しあえる関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・友人・知人の方の面会や外出、一時帰宅の支援を行ったり、地元公民会との関係が途切れないよう努めている。またご家族と美容院や買い物などの外出支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの関係が上手くいくよう、テーブル席の配置を工夫したり、支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であっても、お見舞いに行ったり、行事がある時は見に来て頂けるよう働きかけたりし、関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人やご家族の希望を尋ね、職員全員が把握し、できるだけ希望に添えるよう心がけている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、ご家族や親戚の方から生活歴を聞き出し、把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の記録、申し送り等で把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族や関係者と連携を図りながら現状に即した介護計画を作成している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用しながら朝礼や申し送りで情報を共有しながらケアプラン会議で話しあい、実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族のニーズを尊重できるように支援に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、消防、公民会、取引業者などの協力を頂きながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院が運営主体の為、安心して医療が受けられる状況にある他医療機関受診については概ねご家族にお任せしているが、ご本人・ご家族の要望があればそれに添った支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の体調の変化やちょっとした職員の気づきなどを職員間で共有し、病院へ連絡し指示を仰いでいる</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>常に情報を把握しながら早期退院へ繋げている 病院関係者との関係づくりは構築されている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化・終末期について早期にご家族と話し合い、できる事を説明した上で要望に沿ったケアに努めている</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>訓練は行っていないが、マニュアルを共有している 緊急時にはマニュアルに添った対応と病院へ連絡し指示通りの対応を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施している その際、地域の方にも参加して頂き協力体制を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	園の理念の中に【プライバシーの尊厳】が掲げられており、一人ひとりの人格を損ねない声かけを職員全員が心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の会話で、ご本人の思いや希望を表したり、自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	暮らしの中で一人ひとりのペースに合わせながら1日を過ごしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみや好みに合わせたおしゃれが出来るよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で一緒に作った野菜を収穫したり、職員も同じテーブルと一緒に談話しながら食事を摂ったり、配膳や下膳を一緒に行うなど、楽しい食事時間になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や排便状況をチェックし、1日の栄養摂取や水分確保が出来るよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝・昼・夕食後の口腔ケアの声かけ・見守り・介助、立ったままされるのが辛い方には椅子を準備したりしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を見て、トイレの声かけをしたり、自分で行かれて失敗される方には見守りと介助に入り、失敗しない支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、牛乳とヨーグルトを摂取して頂いたり、運動して頂いており、便秘にならない支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	業務の流れとして入浴の時間帯はほぼ決まっているが、個々の都合に合わせて支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の環境を整え自分の部屋であるという認識のもと、安心して昼寝や休息がとれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院、薬局の指示のもと服薬支援している。症状の変化が見られる時などはすぐ報告し指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を生かした役割分担やレクリエーション時間を設け、気分転換の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の体調に合わせた散歩、ドライブ、買い物等の支援をしている。また行事の中に遠方への外出を計画に入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の判断でお小遣い程度を所持されている方もいる。必要な物品や要望のあった時はご家族や職員が購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の取次ぎの支援をしている。年賀状を出す支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔な環境作りを心がけ、季節毎の飾りつけで季節感のある空間を作っている。空調や音楽なども時間帯をみて調整し居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビング・ダイニングを自由に使用してもらっている。また、玄関脇やテラス横に椅子を設置し一人になれる場所作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた私物を置いたり、ご家族の写真を飾ったりし、ご本人が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりをつけたり、各居室やトイレ・浴室の表示を明確にし移動や使用が安全に出来るよう工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない